

No.	024	—	1006	事務事業名	Jr. リーダー育成講座事業			細事務事業名				公的関与	8
PLAN	課名	生涯学習課		係名	社会教育係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進			主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進			
	事業の対象	東温市内の中学生						根拠法令					
	事業の目的	最終的	新しい時代を切り拓く積極的な心を育て、次代の指導者として育成します					今年度	体験学習を通し、仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人ひとりの自己教育力の確立を目指します				
	活動内容	①	馬の世話&乗馬体験					④	外国人講師と交流を深めながら国際料理教室				
		②	小学生(わんぱく広場参加者)を引率しての登山					⑤	成人式を通じた接遇体験				
		③	海洋学習&船中泊体験										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標	
		講座参加者数		参加者の実数				人	目標	30	30	30	30
							実績	13	17				
							目標						
							実績						
ODO	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育					費
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	181 千円	120 千円	224 千円								
	計(A)	181 千円	120 千円	224 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.298 人	1,827 千円	0.298 人	1,860 千円	0.298 人	1,861 千円					
臨時職員工数・経費		0.100 人	199 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)	2,207 千円		1,980 千円		2,085 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	青少年の成長及び次世代のリーダーを育成する上で必要な事業と考えます。学校や学年を超えたこのような活動を行う事業は他市町でも珍しく、学校単位でなく市にしか実施出来ないため実施する意義があります。												
有効性	学校や学年を超えた生徒との交流を通して協調性、自主性を育てるのに有効な事業です。講座内容は、様々な体験ができるよう受講生の意見を踏まえながら改善・工夫していきます。												
達成度	年により参加者人数の増減はありますが、近年は増加傾向にあります。しかし、設定目標には達していない状況であるため、体験内容の見直しの実施など、人を惹きつける工夫を考える必要があります。												
効率性	適切な範囲で参加者に費用の自己負担を課すなど、可能な限り予算をかけない方法で実施しています。しかし、費用を削減することによって、体験の楽しさを感じることができないといったことにならないよう、調整を図る必要があります。												
当面の課題	Jr.リーダー育成講座の修了生が、子供たちの自主的な活動が円滑に進むようアドバイス、サポートしたりできるリーダー的な役割が担える人材育成の場としての環境を整備する必要があります。												
改革計画	社会の変化とともに事業内容を検討し、受講生が興味を持ちながら成長できる講座を開催していきます。また、魅力的な講座が実施できるよう、研修等に積極的に参加し、スキルアップを図っていきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	学校や学年にとらわれることなく、通常の学校生活では体験できない活動を実施することで次世代のリーダー育成につながる事業は、他市町にも例がなく本市にとって貴重な財産であると考えます。今後も魅力ある新たな事業メニューを企画し、新たな人材育成を目指してください。												

No.	024	—	1016	事務事業名	社会人権同和教育事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	1 人権尊重のまちづくりの推進		主要施策	(1)市民のすべてが実践する人権教育の推進				
	事業の対象	市民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	学校、家庭、地域社会との連携を図りながら生涯を通じた人権教育の推進・豊かな人権感覚を培う人権教育の推進・相互の人権を尊重しあう共生の心を育てる人権教育の推進			今年度	研修会や講座への積極的な参加を呼びかけ、様々な機会を通じた啓発活動を行う。						
	活動内容	①	人権ゼミナール・・・① 部落差別(結婚問題について)、② 人権問題の解決をめざして			④							
		②	人権講座……………みんなでなくそう！差別といじめ			⑤							
		③	人権を語る集い ……高齢者、障がい者問題について										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		研修会等参加者数		実績		人	目標 800	実績 679	800	900			
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育費		費					
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	19 千円	20 千円	10 千円	県支出金は愛媛県地域改善対策高等学校等奨学金事務市町交付金(市が行う奨学金事務について、事務処理件数に応じて交付される交付金)							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,915 千円	2,924 千円	3,279 千円								
	計(A)	2,934 千円	2,944 千円	3,289 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.124 人	760 千円	0.124 人	774 千円	0.124 人	775 千円					
		臨時職員工数・経費	0.876 人	1,739 千円	0.844 人	1,677 千円	0.844 人	1,674 千円					
	全体事業費(A+B)		5,433 千円	5,395 千円	5,737 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	人権同和の問題は、一朝一夕に解決するものではなく、その解消に向けた教育事業は、行政が粘り強く実施する必要があります。												
有効性	持続的な実施が必要な本事業はマンネリ化に陥りやすいが、講演内容(講師)等を工夫するなどの対策を行い、有効性を確保しています。												
達成度	研修会等に案内する団体・関係者等の参加者数は安定していますが、一般の受講者の増員が課題となっています。												
効率性	事業予算の主なもの人権教育協議会に対する補助であり、その活動・会計とも適切に行われており、効率性において適当であるものと思われます。												
当面の課題	研修会等における一般受講者の増員 (新型コロナウイルス感染症対策が必要な期間は参加者数制限を実施しています。)												
改革計画	市広報誌やホームページ等による情報発信 新型コロナウイルスの感染症対策												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	現代社会においては、同和問題を始めとする人権に関する差別や偏見、またインターネットにおける新たな諸課題など様々な問題が山積しています。今後も引き続き、人権教育事業を継続しながら、差別や偏見のない社会の実現を目指してください。												

No.	024	—	1032	事務事業名	社会教育施設管理	細事務事業名	滑川野外活動研修施設使用受付許可事務	公的関与	6				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-966-4721	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1)学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	滑川野外活動研修施設利用者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	四季を通じての利用者数増を目指します。			今年度	コインタイマー式温水シャワーを導入して、施設利用者の増を目指します。						
	活動内容	①	ホームページの活用による市内外への施設利用促進を図ります。			④							
		②	生涯学習課の各種事業での施設利用や市内校長会を通じて施設利用を呼びかけ青少年の健全育成を図ります。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		施設利用者		利用者のべ人数		人	目標 2,500	2,500	2,500	2,500			
					実績 2,499	2,332							
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	31 千円	36 千円	12 千円								
		一般財源	477 千円	344 千円	1,074 千円								
	計(A)	508 千円	380 千円	1,086 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.035 人	215 千円	0.035 人	218 千円	0.035 人	219 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		723 千円	598 千円	1,305 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	自然豊かな地域に建設された施設であり、年間を通じての施設利用者への対応のため、施設管理上必要な事業です。												
有効性	自然豊かな過疎地域に建築した施設の利活用は周辺地域住民との交流にも役立っており有効な事業です。												
達成度	施設利用者数は、夏季に集中しているが、年間を通じての利用者目標数を達成しています。												
効率性	施設管理委託を地元住民の方に委託していますが、夏季に利用者が集中し、施設の開閉や管理業務を見直す必要があります。												
当面の課題	施設利用者が夏季に集中し、河川周辺の利用客との、駐車場の使用が混雑し、施設予約者への対応を考える必要があります。												
改計画	地元との施設周辺施設の遊休箇所の利用について協議を実施し、問題解決を図ることが必要と考えます。												
二次評価者	#N/A	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	滑川地区の大自然を満喫できる野外活動研修施設は、近年のアウトドアブームの影響もあり人気が高まっています。今後は、ユーザーのニーズを把握しながら、効率的で経済的な施設運営のあり方を検討してください。												

No.	024	—	1043	事務事業名	花いっぱい運動運営事務	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	ボランティア参加者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	分館や公共施設等の美観の向上を図るとともに、分館のボランティア参加を通じた分館活動の活性化を図ります。			今年度	全ての分館から参加者を募る。						
	活動内容	①	「花の苗のさし芽」、「種まきからポットに移植」、「定植」の作業を、春と秋に中央公民館でボランティアにより行います。			④							
		②	花苗を各地区の公民館や学校、公共施設等に配布して市内の美観活動を行います。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		ボランティア参加者		参加者延べ人数		人	目標 500	500	400	400			
					実績 383	333							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	179 千円	172 千円	180 千円								
	計(A)	179 千円	172 千円	180 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
臨時職員工数・経費		0.033 人	66 千円	0.030 人	60 千円	0.030 人	59 千円						
全体事業費(A+B)		245 千円	232 千円	239 千円									
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	活動に市が関わり、学生のボランティア参加者に活動の意識を考えさせ、市民の美化への意識の向上を図ることができます。												
有効性	花苗を分館や学校に配布することで、地域住民のコミュニティの場となっている。												
達成度	事業は天気に左右されるが、予定通り実施できました。今後も社会教育団体等への協力を検討していく必要がある。												
効率性	花苗は種子から育てコスト削減を図り、土づくりに工夫をしています。												
当面の課題	地域住民の参加者が低迷しており、募集・周知・実施方法について見直す必要があります。												
改訂計画	自治公民館活動の活性化に繋がることから、各分館及び学生ボランティアの参加者の確保に努めます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公民館活動を通じて、市内の美化環境への意識を高める「花いっぱい運動」は、大変有意義であることから、世代を超えた活動の広がりを目指して、工夫のある実施方法を検討してください。												

No.	024	—	1064	事務事業名	公民館主催事業	細事務事業名	さくら講座開催事務	公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-966-4721	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	市民				根拠法令	社会教育法、東温市公民館条例						
	事業の目的	最終的	市民の学習ニーズを把握し、学級講座を開催。学んだ成果を自分自身(市民に生かしていただくとともに、地域社会にも還元できるよう努めます。			今年度							
	活動内容	①	パン教室			④	キシモト(株)工場見学						
		②	松瀬川探検			⑤	終活セミナー						
		③	男の料理教室										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		口座参加者		参加人数		人	目標	100	100	100	100		
					実績	78	87						
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育 費							
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	83 千円	53 千円	72 千円								
	計(A)	83 千円	53 千円	72 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
臨時職員工数・経費		0.021 人	42 千円	0.040 人	79 千円	0.040 人	79 千円						
全体事業費(A+B)	125 千円		132 千円		151 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	D	必要性	3	有効性	2	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民ニーズを把握して、市民の身近な関心事を学級・講座にすることにより、市民に地域の魅力を再発見していただくことにより、魅力ある地域社会づくりに寄与できます。												
有効性	市民ニーズを把握するとともに、魅力ある学級・講座となるよう検討する必要があります。												
達成度	継続して参加希望者も多いが、講座内容によっては、参加者数が少なく、参加人数が伸び悩んでおります。												
効率性	ターゲット年齢層を絞り講座を開催した際、定員割れする講座もあり、魅力ある講座を提供する必要があります。												
当面の課題	市民の学習ニーズを把握し、学んだ成果を自分自身に生かしていただくとともに、地域社会にも還元できる講座内容の検討が必要です。												
改革計画	皆で講座をつくり、皆で学習をつくる、トップダウンの学習でなく、ボトムアップの学習を実現する。アンケート調査以外に公民館利用団体等へ窓口対応時に要望を聞き取り学習ニーズの把握に努める。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	川内公民館が担当する「さくら講座」は、中央公民館の「東温カレッジ」とともに、市民の皆さんへ学習機会を提供する場として有効な事業です。今後も市民ニーズに応えた魅力のある講座内容を検討し、受講者の満足度を高めてください。												